

自由のともび

JIYU NO TOMOSHIBI

VOL. **98**
2025 March

- 全国みんけん連高知大会報告
- 企画展「わたしのまちの自由民権」開催中!
- 第25回社会科自由研究作品展報告
- 資料紹介 植木枝盛『民権自由論』



高知県史編さん近代部会の調査風景

■リレーエッセイ

新しい『高知県史』 近代の編さんについて

令和3(2021)年、高知県は新しい『高知県史』の編さんに着手しました。20年に及ぶ壮大な事業は、まだ緒に就いたばかりですが、令和9(2027)年春には、最初の巻として近世の「資料編」を発刊し、以降十数年にわたり、総計32巻程度の21世紀の『高知県史』が順次刊行される計画です。

このうち近代部会は、廃藩置県(1871年)から第2次世界大戦の敗戦(1945年)までの70年余りを扱い、「資料編」3巻と「本編(通史編)」2巻を発刊する予定です。50年ほど前に出た前回の『高知県史近代史料編』と『近代編(本編)』は、紙数の制約もあり、内容面では政治史中心、地域性の面では高知市偏重が色濃い構成になっていました。これに対し今回は、政治史に加え経済史、社会史、文化史など各分野の専門委員を配置したほか、各市町村の悉皆的な調査に取り組み、幅広い視点での編さんを目指しています。

新しい県史を成就させるには、県内関係機関の協力が必要です。特に近代史の編さんには、所蔵する資料の量や質、研究成果の蓄積から考えても、自由民権記念館との連携は不可欠です。これまでも近代部会では、同館を会場に全委員参加の合同調査を実施し、「資料編」への掲載を念頭に同館所蔵資料の翻刻にも取り組んでいます。

また調査には、県外の大学生が参加したほか、県内の大学生も歴史資料調査隊として加わりました。長い編さん事業には、時宜を得た人員の投入が不可欠です。この中から県史編さんを担う新たな人材が生まれることも期待されます。

自由民権150年の開幕を土佐から

全国みんけん連高知大会報告

令和6年10月19・20日に全国自由民権研究顕彰連絡協議会(全国みんけん連)・高知近代史研究会・当館が共催で開催した全国みんけん連高知大会の報告をします。



全国みんけん連代表 福井 淳氏

自由民権150年に 向けた呼びかけ

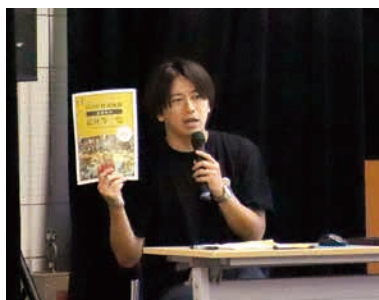
会に先立ち福井代表が「それにしても何かと元気が出ない日本でありわたしたちであります。本大会は『民権150年』を高知から始めることで、かつての『天下の元気を鼓舞』することを欲する」という『民権議院設立建白書』のむすびにある言葉を思い起こし、大胆に実践する、多いなる機会にしたいと呼びかけました。

記念講演



高知県立大学教授 ヨース・ジョエル氏

研究報告



高知県立高知城歴史博物館学芸員 高木 翔太氏

ヨース・ジョエル氏は、坂崎斌について「普通の人々の目線を大事に一言葉の力を信じよう、そう発信し続けたことが、自由民権運動の主役たちのそれにおとらない、バイプレーヤー坂崎斌の大きな貢献である。」と指摘しました。

高木翔太氏の報告では、高知県内の結社が民権派と反民権派に分かれ対立する原因を、国家と憲法に関する主張の違いに着目して検討し、立憲政体に対して主張が異なる背景に、西洋化の受容と天皇の意思の捉え方が関係していることを指摘しました。

汲田美砂氏の報告では、明治七年の「民権議院」にかかわる投書・論説では、外交内政問わず、政府の動向が意に染まないうちに、時事問題と併記するかたちで「民権議院設立」の必要性が持ち出されている、これが論争が長く続いた一因であると指摘しました。





大会 次第

10月19日(土) 会場：民権ホール 参加者88名

開会挨拶 高知大会実行委員長 筒井秀一
市長挨拶 高知市長 桑名龍吾
来賓挨拶 「民権150年」高知県実行委員会
世話人代表 田中全
自由民権150年に向けた呼びかけ
全国みんけん連代表 福井淳

記念講演

**「裁判官、新聞記者、囚人
——『松本新聞』で見る坂崎斌の松本時代とその後」**
高知県立大学教授 ヨース・ジョエル

研究報告

「国会開設に関する高知県各社の相違」
高知県立高知城歴史博物館学芸員 高木翔太
「明治7年民撰議院論争を巡って」
高知市立自由民権記念館学芸員・
奈良女子大学大学院博士後期課程 汲田美砂

質疑・討論

司会 高知近代史研究会会長 中村茂生

全国の研究・顕彰会・機関からの報告

**「高知市立自由民権記念館友の会
35年間の取り組み」**
高知市立自由民権記念館友の会会長 岡林登志郎
**「河野広中没後100年記念事業と
河野家資料について」**
三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館館長 平田禎文
閉会挨拶 全国みんけん連顧問 新井勝紘

10月20日(日) 佐川町を巡るバスツアー 参加者27名

青山文庫の学芸員解説による青山文庫見学
さかわ観光協会のまち歩きガイドによる佐川町内巡見



質疑・討論

中村茂生高知近代史研究会会長の司会で、会場からの質疑応答、報告者間の意見交換を行い、報告内容を深めました。



全国の研究・顕彰会・機関からの報告1

岡林登志郎当館友の会会長から、友の会が1990年に結成されて以来の、長きにわたる地域に根差した諸活動が報告されました。



全国の研究・顕彰会・機関からの報告2

平田禎文三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館館長から、福島県における河野広中没後100年記念諸事業と「河野家文書」の現在について報告がありました。



閉会挨拶

新井勝紘全国みんけん連顧問は、若手研究者の積極的な研究報告があった高知大会から、全国の自由民権研究・顕彰をさらに盛り上げていきたい、と閉会の挨拶をされました。

エクスカーショ ン 10月20日 バスツアー



旧青山文庫の建物

27名の参加で佐川町を訪問しました。
佐川町立青山文庫では学芸員の解説を聞き、ガイドさんの案内で、牧野富太郎生家跡、旧青山文庫などまち歩きを楽しみました。



平田オリザ氏

自由民権150年記念講演会

平田オリザ氏「中江兆民の時代」

10月19日(土)民権ホール

平田氏は、兆民の『三酔人経綸問答』を「日本で初めての対話の書」と評価し、民主主義における「対話」の重要性を説き、また龍馬、兆民、秋水らを、意見や文章にユーモア、余裕があり「土佐のおおらかなりベラリズム」と指摘しました。



企画展

「わたしのまちの自由民権」

開催中!

かいさいちゅう

期間…令和7年1月25日(土)～6月1日(日)
※4月1日(火)は展示替えのためお休みです。
会場…2階 特別展示室

じゅうみんけん

約150年前にはじまった、自由民権運動。その中心は、板垣退助をはじめとする高知の人々でした。運動は、どんなふうに行われたんだろう? どういう人たちが参加したんだろう?
「わたしのまち」の大切な歴史、自由民権運動について、いっしょに学んでみませんか。

2 植木校盛の手紙

高知市出身の民権家・植木さんが、選挙に出るための手続を、地元仲間にお願する手紙だよ。植木さんは当時34歳。若くて優秀で、とても有名な民権家だったんだ! (もちろん、その後の選挙でも当選しているよ。)

3 「自由水」という化粧水のチラシ

自由民権運動が行われていたころには、「自由」や「民権」という言葉がとてはやったんだ。

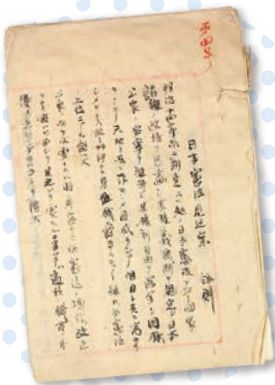
みなさん、こんにちは! ぼくの名前は「みん犬」。このページでは、ぼくが、この展示の魅力や楽しみ方を、たくさんお伝えするよ! どうぞよろしくね。



この企画展では、なんととっても、自由民権運動に関するきちょうなモノをたくさん見ることができるとだ。たとえば…

1 日本憲法見込案の写し

立志社が考えた憲法の見込案だよ。当時の案がこうして今に伝わっているのは、とてもめずらしいんだ。



泥めんこは、江戸時代から明治時代の子どものおもちゃ。当時の子どもたちも、板垣さんのこと知っていたのかな?



このほかにも、
楽しみ方はいっぱい！



●ミッションに挑戦

受付でもらえる「ミッション・シート」を使って、館内にかくされた4つのミッションに挑戦しよう。クリアしたきみには、プレゼントがあるよ！

※プレゼントは、高校生以下の方が対象です。



●音声ガイド

板垣退助さんと楠瀬喜多さんが展示について解説してくれる「退助さんと喜多さんの民権思い出話」を、無料のスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」で聞くことができるよ。



録音のようす
(協力：高知県青年団協議会)

●わたしのまちの「おたから」コンテスト

このコンテストには、企画展に展示されているモノのなから、5つのおたからがノミネートされているよ。各部門にふさわしい「おたから」を選んで、投票しよう！



投票コーナー



ノミネート「おたから」

家族やお友だちと
いっしょに
遊びに来てね。
待ってるよ！



●おとなの方へ

この企画展は、これまでに御来館いただいたお客様の声をもとに企画した、子ども向けの企画展です。高知の自由民権運動について、子どもたちに楽しみながら学んでいただけます。ぜひこの機会に、お子さんやお孫さんと一緒に御来館ください。

めざせ
博学連携！

令和六年度事業報告

「教員のための博物館の日」を

開催しました！

(令和6年8月8日)

「教員のための博物館の日」は、学校の先生方に「博物館に親しむを持ってもらうこと」、「博物館の学習資源を知ってもらうこと」を目的として、国立科学博物館が2008年に始めたイベントです。今年は全国60館以上の博物館が参加・開催しており、当館も「学校現場で活用していただきたい」との思いから、今年度初めて開催する運びとなりました。

当日は、14人の先生方に御参加いただき、館長による展示解説をはじめ、学芸員からは、団体観覧や出前授業、資料画像の活用など、学校現場における当館の活用方法を具体的に提案させていただきました。

本イベントが、先生方に当館を知っていただき、気軽に来館いただくきっかけとなるよう、来年度以降も開催していきます。

参加された先生方の感想

①なぜ土佐から自由民権運動が起きたのがよく理解できました。生徒に少しでも自由民権運動に関心を持ってもらうために、出前授業の活用などから検討してみたいです。

②多くの気づきがありました。展示解説があったことでこれまで気にとめていなかった資料にも目がとまり、授業での活用方法を考えながらお話を聞くことができました。郷土愛を育むことにもつながると感じました。



第25回 社会科自由研究作品展報告

期間 令和7年1月18日(土)～2月24日(月・祝) 共催 高知市教育研究会社会科部会



展示風景



表彰式のアトラクション

社会科自由研究作品展は、当館開館10周年を記念して始まり、今年で25回目となります。今回も「歴史・人物」「地理・文化」など全6分野に数々の力作が出品されました。

応募点数は、小学校29校、義務教育学校1校から、合計153点。見えたえのある作品の中から15点を自由民権記念館特別賞に選出しました。

1月25日(土)には表彰式を開催し、自由民権記念館特別賞受賞者やその御家族の方に御参加いただきました。お祝いのアトラクションでは、高知市環境業務課の環境啓発ヒーロー「環境選隊クリーンレンジャー」が登場し、大いに会場を盛り上げました。

なお、期間中は1495名の方に観覧いただきました。どうもありがとうございました。

来場者アンケートより

新札や最近の出来事を書いていてすごかったです。
(小学生)

来年こんなのしてみたいね!と親子で盛り上がりました。

全作品、がんばって調べまとめ上げた努力が、すごく伝わってきました。



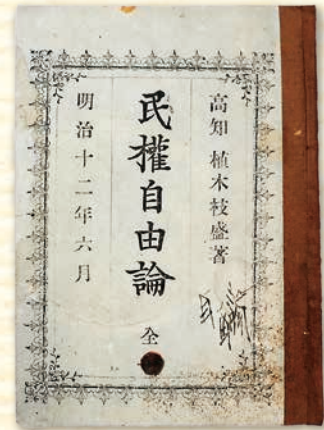
自由民権記念館特別賞受賞者のみなさん

自由民権記念館特別賞 15作品

分野	学校	学年	氏名	作品名
環境	横浜新町小学校	6	片岡 彩花	ゴミの行方
産業・交通	横内小学校	2	茶畑 香緒	どうろひょうしきのいみをしらべよう
産業・交通	高知大学教育学部附属小学校	5	濱田 蓮斗	とさでん交通で行こう!高知市のおすすめスポット!
総合・体験	介良潮見台小学校	3	梶原 小町	「かならずおきる!南海トラフ地しん」～ひがいをへらすために～
総合・体験	高知大学教育学部附属小学校	5	西原 光太郎	シン・オリムピックばなし
総合・体験	秦小学校	5	原田 みの梨	ひいおばあちゃんの子ども時代
地域・福祉	一ツ橋小学校	2	中屋 圭佑	ほいくえんではたらかんごしさんのおしごとをかんさつしたよ
地域・福祉	小高坂小学校	4	柏原 佑紀	校区の今と昔
地域・福祉	介良潮見台小学校	5	黒瀬 和聡	どうして子ども食堂が続けられるか
地理・文化	高知大学教育学部附属小学校	2	吉田 光陽	こっきの自由けんきゅう
地理・文化	初月小学校	5	富尾 篤人	北栄町の一番星(コナン)
地理・文化	久重小学校	6	山本 早穂子	地域で採れた野菜で田舎ずしを作る
歴史・人物	朝倉小学校	4	山崎 蒼大	九州名城めぐり
歴史・人物	高知大学教育学部附属小学校	6	加納 心和	私の先祖を探る
歴史・人物	横内小学校	6	茶畑 咲衣	高知市の寺院の宗派

◆ 植木枝盛

『民権自由論』



近森コレクション
(個人蔵・当館寄託)

はしがき
一寸御免を蒙りまして日本の御百姓様日本の御商人様日本の御細工人職人様其外士族様御医者様船頭様馬かた様御師様鉛売様お乳母様新平民様共御一統に申上ります。さてあなた方は皆々御同様に一つの大きな宝をお持ちでござる。この大きな宝とは何んでござる歟打出の小槌か。銭のなる樹か金か銀か珊瑚か。だいやもんど。か但しハ別品の女房を云ふか才智すぐれたる兒子の事か。いや／＼こんなものではない。まだ是等よりも一層尊び一つの宝がござるそれが即ち自由の権と申すものじや。元来あなた方の自由権利は仲々命よりも重きものにて自由が無ければ生きても詮ないと申す程のものでござる。いかさま金銀や珠玉の話してはありますまいが。さうば折角生きているあなた方。少しも卑屈することなく此民権を張り自由を伸ぶるが。なによりの肝心でござるふ。何ぜとならば幸福も安楽も民権を張り自由を伸べずて得らるゝ事ではありません。さらばこそ今此の書中には右の民権を張り自由を伸べしと云ふの一条小子一心を込めて書き述べたれば。あなた方も亦一心を注いで御覧下され

明治十二年三月十日

三十五百万の末弟

植木枝盛 記

「一寸御免を蒙りまして」と、講談めいた語り口のはしがきで知られる、植木枝盛の『民権自由論』。これは明治一二年に出版された、植木にとって初めての市販書であった。この書の中で植木は、「自由権利」は人が生まれながらに持っているとする天賦人權論を展開。人民の自主自由と憲法に基づいた政治が必要であることを説いている。

また、『民権自由論』の特徴はその文章表現にある。語尾に「でござる」「あります」などを用いた口語体で記され、漢字には全てルビが振られているのだ。ここから、この本の想定読者は「はしがき」で、まず呼びかけた百姓・商人・職人・船頭などの、士族階級以外の人々であったことがうかがえる。というのも当時、日本では国の中にも言語の壁が存在していたからだ。

明治初期には、士族などは「漢字カタカナ」を主とし、法令や大新聞なども基本的に「漢字カタカナ」で記された。しかし、一般の人々が親しんでいたのは「ひらがな」であり、漢字の読み書きは出来ない人も多かったという。漢字カタカナ・文語体で書かれた大新聞と比して、漢字ひらがな・口語体で記され、総ルビを採用した小新聞の方が人気を博したのも読者層とその厚みの違いによるものであった。

開の方が人気を博したのも読者層とその厚みの違いによるものであった。

こうした社会情勢を踏まえて、植木は、より多くの人々に伝えることを目的に、最適な表現方法として口語的な文章と漢字ひらがなによる表記を採用したと考えられる。一方で、こうした文章表記は、「俗」なものとして士族など知識人を自負する人々からは倦厭されており、民権家たちが積極的に用い始めるのは明治一五年頃と、やや時代を下る。『民権自由論』は、大衆に向けた政治思想書として先駆的な存在であった。

また、同書には付録として民権歌謡の一つとして知られる「民権田舎歌」の歌詞が掲載されている。当時の人々に親しまれた節にのせることによって、新しい思想である民権自由論が、政治に関心のない人々にまで口伝で広まっていくことをねらったものであっただろう。



【参考文献】

- * 家永三郎「解題『植木枝盛集』」巻、岩波書店、平成二年。
- * 山本正秀「言文一致の歴史論考」、桜楓社昭和四十六年。

行事予定 (春・夏)

予定は変更になる場合があります。詳しくは自由民権記念館までお問い合わせください。
◆は当館内自由民権記念館友の会事務局にお問い合わせください。

開催中～6月1日(日)

■企画展

「わたしのまちの自由民権」

会場：2階特別展示室

※常設展・企画展共通観覧券が必要

※4月1日(火)は展示替えのため休室

4月27日(日) 10:00～11:00 / 13:00～14:00

■企画展「わたしのまちの自由民権」関連行事

活版印刷を体験してみよう!

講師：竹村愛氏(竹村活版室)

会場：1階研修室

対象：小・中・高校生

4月29日(火・祝) 15:00～16:00

申込不要

◆自由民権記念館友の会総会・記念報告会

「高知県史編さん事業の概要について」

講師：目良裕昭氏(県歴史文化財課・県史編さん室チーフ)

「高知県近代史部会の取り組みについて」

講師：坂本靖氏(同・県史編さん室近代部会担当専門員)

会場：1階研修室

※総会 13:30～15:00

6月21日(土) 14:00～16:00

申込不要

■高知近代史研究会総会・第122回研究会

「土佐と台湾一産業創成に渡った人々(仮)」

講師：平川幸子氏(早稲田大学台湾研究所客員上級研究員)

会場：1階民権ホール

※総会 13:30～13:50

7月26日(土) 14:00～15:30

申込不要

■高知近代史研究会・第123回研究会

「村野藤吾と高知県知事公邸」

講師：北山めぐみ氏(高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン学科准教授)

会場：1階民権ホール

7月下旬 10:00～12:00

■夏休み子ども歴史教室

小中学生が、館内で自由民権運動に関するクイズラリーに挑戦

※学校を通じて申込受付

コラボ企画 板垣デイズ

民権家・横山又吉が初代校長を務めた高知商業高等学校とのコラボ企画を実施します。

5月17日(土) 10:00～15:00

5月21日生

板垣退助誕生から188年—板垣はヒーローだ!—

会場：1階アトリウム・民権ホール

ジビエ部

・講演会 10:30～11:00

板垣に関する新商品(7月21日～販売開始)のPRとプレゼンを行います。

・商品販売 11:00～15:00

商業高生が開発したジビエ商品を販売します。

ダンス部

・公演 14:00～14:30

自由と板垣退助をテーマに創作ダンスを行います。

7月21日(月・祝) 10:30～13:30

7月16日没

板垣の好物から着想を得て開発した新商品の
キックオフイベントを行います。

ジビエ部 発表会 10:30～11:30

販売会 11:30～13:30

要電話
予約

ワークショップ

午前の部 10:00～12:00
午後の部 14:00～16:00

定員：各回15名

参加費：500円

会場：1階研修室

※参加者対象の
クイズラリーあり

4月19日(土) 貯金箱を作ろう!

5月24日(土) ビーズアクセサリーを作ろう!

6月14日(土) 風鈴を作ろう!

7月26日(土) 万華鏡を作ろう!

8月23日(土) 工作をしよう!

9月13日(土) 薬箱を作ろう!

Topics

トピックス

高知市立自由民権記念館紀要 電子公開のお知らせ

高知市立自由民権記念館紀要は第27号よりHP上での電子公開となっており、どなたでも無料で御覧いただけます。

目録訂正のお知らせ

高知市立自由民権記念館紀要第26号に掲載の「植村省馬関係資料目録」について、同一資料を2か所(請求記号H-340とH-472、請求記号H-341とH-473)で掲載していることが判明したため、請求記号H-340、H-341を欠番とします。



高知近代史研究会第121回研究会報告

2025年2月15日(土)の研究会は「大江卓と中江兆民——天衣無縫のヒューマニズム」と題し、当館・高知近代史研究会・早稲田大学台湾研究所との共催で開催しました。『大江卓の研究』で第33回高知出版学術賞を受賞した大西比呂志氏、『兆民先生他八篇』での解説が評判の梅森直之氏による講演のほか、後半のシンポジウムでは、共催団体より早稲田大学台湾研究所の平川幸子氏、高知近代史研究会の中村茂生会長、当館館長が登壇し、講師のお二人と活発な意見交換を行いました。会場やZoom配信で御参加いただいたみなさま、早稲田大学台湾研究所をはじめとする関係者のみなさまに御礼申し上げます。



時代の郷



自由のともしび

Jiyu no Tomoshibi

自由民権記念館だより Vol.98

発行 2025(令和7)年3月31日 発行人 筒井秀一

発行所 〒781-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306

自由のともしび(Vol.60から)が当館公式サイト(<https://www.i-minken.jp/>)で御覧いただけます。